

北海道社会福祉学会（日本社会福祉学会北海道ブロック）
研究大会・シンポジウム

子ども・家庭・学校を支えるスクールソーシャルワーカーの実態とこれから

行政説明：渡辺 心 氏（北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課企画・調整係指導主事）

シンポジスト：大友 秀治 氏（北星学園大学 教授）

今西 良輔 氏（日本医療大学 准教授）

内田 梓 氏（北星学園大学附属高等学校スクールソーシャルワーカー）

コメンテーター：渡辺 心 氏（北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課企画・調整係指導主事）

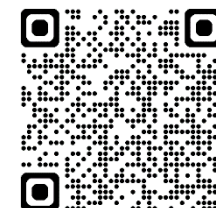
コーディネーター：中村 直樹 氏（北海道教育大学 講師）

日時：2026年2月23日（月・祝） 15：00～17：00

場所：ハイフレックス開催（対面会場：北星学園大学C館4階402
教室（北海道札幌市厚別区大谷地西2-3-1） / Web会議
（zoom））

参加申し込み

<https://forms.gle/GgVdMNU7ZxYDHpcCA>



子ども・家庭・学校を支えるスクールソーシャルワーカーの実態とこれから

【趣旨】 近年、いじめや不登校、暴力行為、虐待など子どもたちをめぐる問題は深刻さを増している。これら諸問題の深刻化は、最悪、自殺に至る場合もある。実際に2024（令和6）年の児童生徒の自殺者数は、529人（確定値）となり過去最多となっている。1日で1.4人の子どもたちが自殺に追い込まれていることになる。社会経済情勢が停滞しているとはいえ、社会的な豊かさを実現してきた日本。社会保障・社会福祉、教育の法制度も一定程度整い、近年、家庭への支援策等も充実してきている。しかし、その日本のどこかで1日に一人以上の子どもが自殺に至ることは、ただならない事態である。そこで、子ども、家庭、学校をめぐる諸問題に対して第一線で対応してきたスクールソーシャルワーカーとその活動に着目していきたい。スクールソーシャルワーカーは、子どもたちをめぐる諸問題や課題に対して、子ども本人や家庭、学校への支援する専門職者である。このスクールソーシャルワーカーの実態とこれらからについて、シンポジウムを通じて議論し、これらからの子どもと家庭、学校、スクールソーシャルワーカーについて考えていきたい。

行政説明：渡辺 心 氏（北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課企画・調整係 指導主事）

シンポジスト：大友 秀治 氏（北星学園大学 教授）

今西 良輔 氏（日本医療大学 准教授）

内田 梓 氏（北星学園大学附属高等学校スクールソーシャルワーカー）

コメンテーター：渡辺 心 氏（北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課企画・調整係 指導主事）

コーディネーター：中村 直樹 氏（北海道教育大学 教授）

日時：2026年2月23日（月・祝） 15：00～17：00

場所：ハイフレックス開催（対面会場：北星学園大学C館4階402教室/ Web会議（zoom））

・対面会場：北星学園大学C館4階402教室（北海道札幌市厚別区大谷地西2-3-1）

・非対面：Web会議（zoom）

⇒ 参加申し込み <https://forms.gle/GgVdMNU7ZxYDHpcCA>

問い合わせ先：北海道社会福祉学会研究担当（松岡）：y-matsuoka@hokusei.ac.jp

主催：北海道社会福祉学会・日本社会福祉学会北海道ブロック

